

星川だより

夏



熊谷空襲を忘れない市民の会 会報



熊谷空襲に触れて

熊谷女子高等学校二年
石川 蓮

参加者に説明する石川さん

私が熊谷空襲を初めて知ったのは、中学三年生の時に観たNHKのドキュメンタリー番組「映像の20世紀」においてであった。それまでは、恥ずかしながら熊谷空襲について聞いたことがなく、そして当時私自身熊谷に縁がなかったため、この空襲についても「太平洋戦争中に起きた悲劇の一つ」としか認識しなかった。

高校に入学して暫くたったある日、所属する日本史部の顧問の先生から、熊谷空襲を忘れない市民の会が主催する、熊谷空襲に

関するフィールドワークに参加しないかとのお話を頂いた。その時は、熊谷に通学している身として、七十七年前に熊谷で起こった出来事について知らねばならないと思い、参加させて頂くことにした。フィールドワークを行ってみると、初めて見聞きするものが多く大変驚いた。それと同時に、何の罪もなく殺された人々の無念さや悔しさ、また残された遺族の方々の悲痛な心情を思うと、怒りや悲しみのような感情が湧いてきた。さらに、今年度のフィールドワークにも参加させて頂いたのだが、1年がたち、また改めて熊谷に残る戦跡を巡ると、昨年度には気づかなかったことに気づけ、より深い理解へと繋がる事ができた。

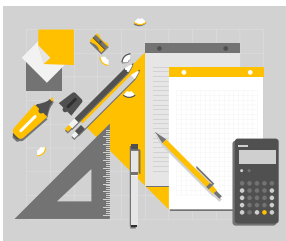
そして今回は、私が熊谷女子高校に残る、戦争当時の状況を現在に伝える「北門」「鈴懸の木」「皇紀二六〇〇年の碑」について解説させて頂いた。この3点については、当校ホームページ「熊女の見どころ3選」に詳しいが、このような機

会は、私にとって初のことであり非常に緊張したが、無事に役目を果たすことができ一安心した。

現在、日本は平和と言える状況にある。しかし世界では他国から侵攻を受けていたり、国内で紛争状態にあつたりと、世界全体が「平和」とは言い難い状況にある。世界中の人々が平和の下で生きられるようにするには、どうすれば良いのか？日本において二度とこのような凄惨な出来事を繰り返さないために、私たちにできることは何だろうか？この熊谷空襲のフィールドワークで学んだ事を活かして考えていきたいと思う。

今回、「星川だより」に寄稿させて頂くにあたり、熊谷空襲について学ぶ貴重

な機会をくださった熊谷空襲を忘れない市民の会の皆様に心より感謝申し上げます。



熊谷空襲を忘れない市民の会では、2023年5月28日(日)、熊谷空襲戦跡巡りを開催した(29名参加2班に分けて実施)。本文を寄稿して頂いた石川さんには熊谷内の戦跡3点の解説をお願いした。右から北門について説明する石川さん。真ん中が鈴懸の巨木そして皇紀2600年を記念して卒業生より寄贈された門柱。

丸木美術館に思う 西堀邦雄

今年二月、ずっと行きた
いと思いつけていた丸木
美術館に出かけました。東
松山は二十数年ぶりです。
事前に教えてもらって
た場所は、高校生時代よく
走っていたあたりなので
すぐわかるはずでしたが、
行ったり来たりを繰り返
し、案内板を発見し細い道
を下った先に丸木美術館
の文字を見つけほっとし
た次第です。



ました。丸木位里、丸木俊
さんの「原爆の図」といよ
いよ対面です。私は絵を
観ることが大好きです。目
飛び込んできたのは、これ
まで体験した絵とは全く
違うものでした。真っ暗な
空間の中に、あちらこちら
から炎が見えます。全身垂
れ下がった皮膚の人が動
いていきます。木に逆さでつ
り下がった人、水たまりに
突つ伏している人、命が絶
え倒れている人、幼子を胸
に抱いて守っているお母
さん。私は思考が止まっ
てしまったように、ただじっ
と観ているだけでした。

入館料を支払い、ドアを
押し開け中に入ると、スト
ーブのあるスペースには
本やポストカードなどが
置かれています。その脇か
ら階段で展示室に向かい

と、生きている「幽霊」と
思いました。

原爆投下後すぐに、俊さ
んはヒロシマに直行しま
す。凄惨な現実に向直し、
焼け付くような空気、人の
焼けた匂い、熱風、そして
その後の生ぬるい風、聞こ
えない声を全身に受け止
めます。位里さんの故郷ヒ
ロシマの惨状、この惨状を
絵にしたお二人の悲しみ
と怒りを思います。人物描
写は主に俊さん、背景の暗
闇や炎は名水墨画家の位
里さんが流し込みという
方法で描いています。後で
知ることになったのです
が俊さん（赤松俊子さん）
は、人物描写に卓越してい
る方で、記録によると食べ
るにも苦労していた敗戦
後、女性の画家たちとの勉
強会で、お互いにモデルに
なって技量を磨いたそう
で、その時期にいわさきち
ひろさんもモデルになっ
たとのこと。彼女のヌード
デッサンと思しきものが
残されています。ちなみに
俊さんにとってはへっち
やらなことのようにした。

「幽霊」の展示室から階
下の展示「署名・焼津・と

うろうろ流し」を観ました。
原爆の図はここまで続き
ます。人間の尊厳、生きる
希望を伝える幼子、少年少
女、男、女、多くの群像画
（図）なのです。

退館後、もう一度いや何
回も見直し、読み直ししよ
うと決めました。「ヒロシ
マノート」「黒い雨」「原爆
詩集」「夏の花」「広島に原
爆を落した日」「紙屋町さ
くらホテル（戯曲・舞台）」
「父と暮らせば（井上ひさ
し）」等を。

※丸木俊さんについての記述は、
毎月二回、東京新聞夕刊に掲載
されている丸木美術館学芸員岡
村幸宜さんの「女絵かきの疾走、
生誕百十年丸木俊」を参照。

～ カンパのお願い ～

熊谷空襲を忘れない市民の会では、広く活動費用を
募るため口座を開設しました。ご協力のほどよろしく
お願いします。
なお、会計報告はこの紙面により行います。

ゆうちょ銀行

口座記号・記号：00100-7-265321
加入者名：熊谷空襲を忘れない市民の会
口座名称カナ：クマガヤクウシュウヨウワスレナイ
シミンノカイ

他行からの振り込みの場合は

店名（店番）：〇一九店（019）
預金種目：当座
口座番号：0265321

会計報告（2023/3/22～7/21）

収入：6.150 円
支出：11.221 円
残高：70.712 円

編集委員 吉田庄一、小川美穂子、米田主美
連絡先 吉田庄一（090-4957-9181）
メール imajn241@gmail.com
HP http://www.peace-kumagaya.org/

パネルディスカッション
戦跡めぐりをして
～78年前の街の傷跡から未来を考える～

●日 2023年 8月12日（土）
●時 10:00～11:50（開場 9:30）
●会 熊谷市緑化センター2F

住所 熊谷市南町2丁目37-1
参加費 500円（障がい者、学生無料）
主 催 熊谷空襲を忘れない市民の会
連絡先 会（TEL）070-5531-7374
後 援 熊谷市教育委員会

内容
第一部 戦跡めぐりによる鑑賞観音
第二部 パネルディスカッション
パネラー
学生報告者
高橋三郎さん（空襲体験者）
西堀邦雄さん（空襲体験者）
三浦大輔さん（熊谷市立大学）
三浦大輔さん（熊谷市立大学）
米田主美
（熊谷空襲を忘れない市民の会代表）

熊谷空襲の戦跡めぐりをして、学生たちは何を
感じ、何を伝えようとするのか？そして戦
争体験者が語る戦争とは・・・。
戦後78年、新たな戦前にならないために私
たちが考えなくてはならないことは・・・。

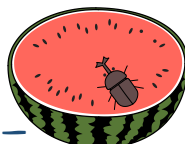
熊谷空襲を忘れない市民の会夏の企画

パネルディスカッション

●8月12日（土）

●10:00～11:50

●場所 熊谷市緑化センター



熊谷空襲の戦跡めぐりをして、学生たちは何を
感じ、何を伝えようとするのか？そして戦
争体験者が語る戦争とは・・・。
戦後78年、新たな戦前にならないために私
たちが考えなくてはならないことは・・・。